

2022年3月31日

課題名：「小児精巣腫瘍の臨床的検討」

◆研究の目的と概要◆

当院では、小児精巣腫瘍について調べています。本研究では、近年の小児精巣腫瘍の臨床像を把握することを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2001年1月から、2021年12月までの間に、精巣腫瘍であると診断された男児（12歳未満）。

◆研究に使用される情報◆

- ・手術時年齢、主訴・発見契機、左右、患側精巣位置（陰嚢 or 鼠径 or 腹腔内）、水腫合併の有無、既往歴
- ・腫瘍マーカー値（AFP、hCG）
- ・エコー検査、MRI検査、CT検査の有無と所見、全身検索目的のその他画像検査の有無
- ・術式、術中迅速の有無、迅速検査の理由、術前の精巣温存手術検討の有無、手術時間（分）
- ・術前診断、術後病理診断、病期
- ・化学療法の有無、観察期間、再発の有無、転帰

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。上記情報を、患者さんの氏名などが分からないようにしたうえで、倉敷中央病院へ電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 花木祥二郎医師が主体となって実施しており、全国6施設が参加しています。

共同研究機関（研究責任者）

岡山医療センター 小児外科 中原康雄

四国こどもとおとなの医療センター 小児外科 岩村善信

島根大学医学部附属病院 小児外科 久守孝司

山口県立総合医療センター 小児外科 仲田惣一

姫路聖マリア病院 小児外科 上野悠

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

施設名：島根大学医学部附属病院 小児外科

研究責任者 久守 孝司

E-mail：fuwari @med.shimane-u.ac.jp

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、倉敷中央病院 医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。また、施設長の許可を受けております。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明